

ま え が き

ここに、平成25年版「統計東久留米」を刊行いたします。

この統計書は、東久留米市の人口、産業・経済、教育・文化、厚生・市民等の各分野にわたる基本的な統計資料をできる限り総合的に集録し、市の現況の推移を表したものです。

昨今、統計に関する書籍がベストセラーになるなどデータへの関心がますます高まっております。また、総務省では公共データの活用促進を図る観点からオープンデータ化の取組を進めており、統計データが「社会の情報基盤」として活用されるよう取り組んでおります。この統計書では、よりわかりやすく身近なものとするため前回より図表を多く取り込むとともに、各種基幹統計の確報結果を反映し新しいデータに更新しております。この統計書が統計データの今後の行政運営の基礎資料にとどまらず、市民生活や企業活動等の様々な場面での意思決定に不可欠な「社会の情報基盤」として、市民の皆さんをはじめ関係機関の方々に広く活用され、市政の発展に資することができれば幸いです。

編集にあたりましては、内容の整備・改善に努めましたが、今後とも各方面からのご指導、ご助言を得まして一層の充実を図りたいと存じます。

おわりに、本書の刊行にあたり、貴重な資料の提供や格別のご協力をいただいた関係各位に厚く御礼申し上げます。

平成26年3月

東久留米市長 並木克巳

凡 例

1. この統計書は、各官公庁及び民間団体から提供された資料、既に発刊されている各種統計報告書並びに庁内各課から収集した資料を集録しました。
2. この統計書は、必要に応じて最近3ヶ年（年度）～10ヶ年（年度）程度の数値を掲げることで、経年による変化及び比較対象が容易になるよう編集しました。
3. 表中「年次・〇〇年」とあるのは暦年（1月1日から12月31日まで）を示し、「〇〇年度」とあるのは会計年度（4月1日から翌年3月31日まで）を示します。また、「〇月〇日」とあるのは、その期日を示します。
4. 単位未満の数値は、原則として四捨五入したため、総計と内訳の合計が一致しない場合があります。
5. 統計表中の符号の用法は次のとおりです。
 - 「－」 皆無又は該当数値のないもの
 - 「…」 不詳又は資料のないもの
 - 「x」 該当数値の公表を差し控えたもの
 - 「0」 単位未満の数値
 - 「△」 減少又は負数
6. この統計書に集録した資料についての照会は、各表に付してある資料作成機関又は企画経営室総務課統計調査担当にお願いいたします。なお、内容につきましては東久留米市ホームページ「まちのデータ」にも掲載しております。

URL <http://www.city.higashikurume.lg.jp/kensaku/matidata/>